

平成26年度 職業観育成講座

平成26年度第1学年職業観育成講座を実施しました。様々な職業の方々にパネリストとして来ていただき、貴重なお話を聞かせていただきました。大変ありがとうございました。

1. 目的 異なる職業の方々によるパネルディスカッションを通して、生徒の「職業観」を育成し、自らの進路決定に役立てることを目的としています。
2. 日時 平成26年7月11日（金） 12:50～15:25
3. 場所 本校 新嶺会館3F プラタナスホール
4. PTAの推薦によるパネリスト
江口 美幸 氏 【山崎総合事務所（司法書士）】
高多 佑佳 氏 【福井県済生会病院（医師）】
福田 慎也 氏 【北陸電力株式会社】
細川 達矢 氏 【株式会社福井銀行】



生徒感想

◇今日のお話を聞いて思ったことは、先生方全員が今やっている仕事を楽しんでいるんだなということです。話をする姿もとてもいきいきしているように見えました。私も将来、自分の仕事について先生方のように語れるようになりたいです。

◇特定の職業に限らず、社会人としての生き方などを学んだ気がしました。文系、理系から他方に転じた方が二人もいて、文系に進んだからと言って、それ以外の道が完全に断たれてしまうわけではないのだと知りました。私が今興味を持っている進路は、就職がとても厳しいと言われていました。私は、それを選択すべきか悩んでいましたが、先生方のご助言に勇気づけられました。

◇様々な職業がある中で、一つに絞るというのは簡単ではないし、本当に真剣に決めなければならないので、今回のように実体験がもとになったお話を聞くことができ、貴重な機会となりました。元々興味があった分野から考えたことのなかった分野もあり、自分の視野を広げるのにとっても役立ちました。

◇私が最も心に残ったのは、先生方の「自分のやりたいことを精一杯やる」というアドバイスです。私には今、やりたいことがあるけれど、自信が持てなくて悩んでいました。しかし今日のお話を聞いて勇気が湧いてきたし、自信が持てました。自分のやりたいことが将来やれるように、また、自分の仕事に誇りを持てるように、頑張りたいと思います。

◇今日のお話は、先生方の年齢が自分と近かったこともあり、とても親しみやすく楽しく聞くことができました。特に江口先生のお話は、司法書士に興味を持ち始めた私にとって、職場の雰囲気ややりがいなどを知ることができた点で大変勉強になりました。また、どのパネリストの方も自分の仕事にやりがいを感じながらされていると強く感じました。同時に人間関係を築くことの大切さも分かりました。

◇4人の先生方にはそれぞれ自分の考えがあり、とてもかっこよく見えました。中でも、文系の大学を卒業されてから、医学部に進み、医師になられた高多先生のお話が一番印象に残りました。自分に強い意思があれば、何でもできるはずだ、と思いました。また、体力面では、私の両親もよく「今のうちにできるだけ体力をつけておかないと40代を越えてからは思うように動けない。」と言っているの、時間を見つけて体力をつけていきたいと思います。

◇福田先生のお話はユーモアがありとても分かりやすく、会社を自分の一部のように紹介してくれて、先生がご自分を誇りに思っている様子がよく分かりました。自分も先生方のように、人や社会のために働くことができる人になりたいです。

◇一番心に残ったのは、細川先生の、「どうやって死にたいか」というお話でした。この年齢でいきなり死について考えるのは抵抗がありましたが、確かにそこでゴールを設定すれば自ずと自分のやるべきことが浮かんでくるような気がしました。自分も早くゴールを決めて、そこへ向かっていこうと思いました。

また、「物事には必ず二面性ある」というお話も印象的でした。発想の転換で物事をポジティブにとらえ、成長していきたいと思います。

◇「高校生のうちに自分のやりたいこと、好きなことをとことん突き詰めていけばよい」という言葉が特に印象に残っています。将来を考えると、部活動よりも勉強に重点を置いた方がよいのかとも思っていたのですが、今日のお話を聞いて、後悔のない高校生活を送ることが将来につながると思いました。